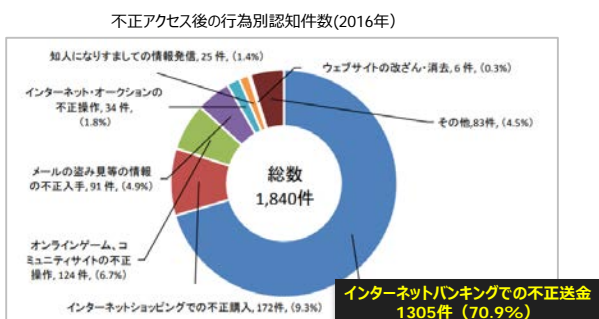


インターネットバンキングに 生体認証の導入検討はお済みですか？

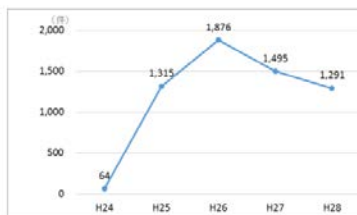
生体認証とは「指紋」や「顔」などの人間の身体的特徴を使って個人を識別する認証方式です。

狙われるインターネットバンキング

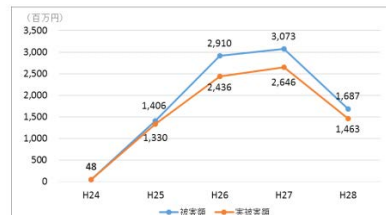
不正アクセスの70%以上が「インターネットバンキング」を標的に



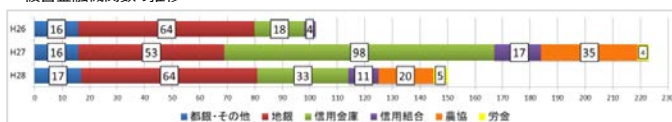
インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数の推移



インターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害額の推移



被害金融機関数の推移



出典) 警察庁：平成28年中におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について
http://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/H28/cyber_jousei.pdf

こんなご経験はありませんか？

- ✓ なりすましによる不正送金が減らない
- ✓ パスワード忘れによるお客様対応が増えている
- ✓ ログイン操作が複雑でサービスの利用率が伸びない



厳格な本人確認と簡単操作を両立する生体認証が課題を解決します。

裏面へ
Go!

生体認証を導入するメリットとその方法は？

生体認証の優位性

なりすませない

- 推測できない
- 搾取・偽装困難
- 貸し借り不可

忘れない

- 覚える必要なし

使いやすい

- 操作が簡単
- 迅速な操作



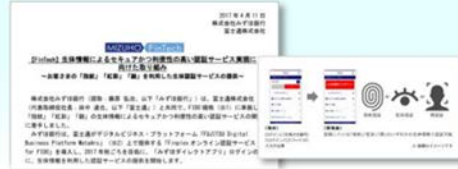
スマートデバイスの普及もあり、利便性の高い生体認証は、急激に活用が広がっています

インターネットバンキング・パスワードレス化

株式会社三井住友銀行様 2017年7月26日プレスリリース
「三井住友銀行アプリ」に生体認証サービスを導入



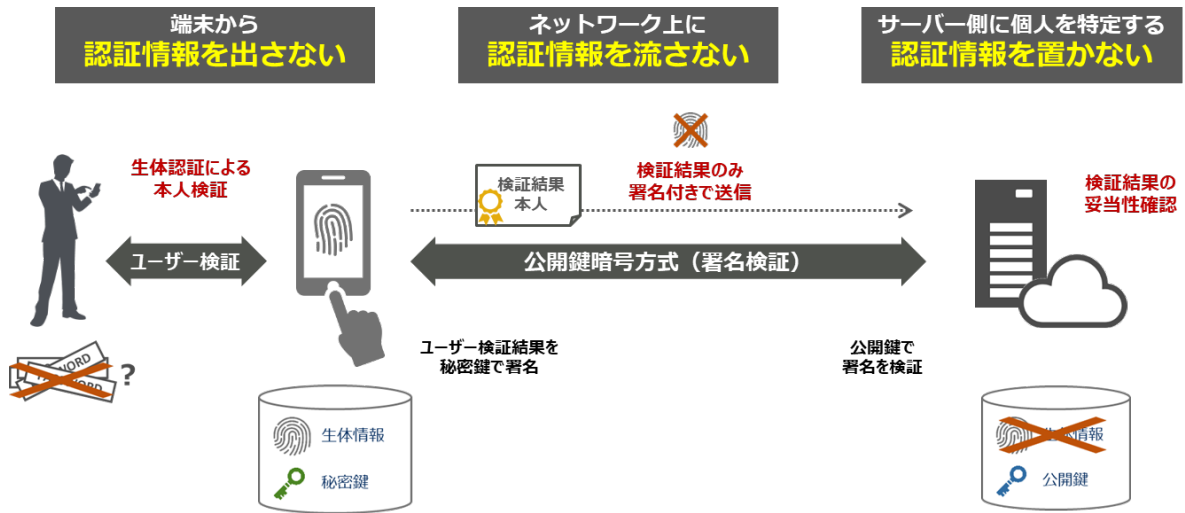
株式会社みずほ銀行様 2017年4月11日プレスリリース
【FinTech】生体情報によるセキュアかつ利便性の高い
認証サービス実現に向けた取り組み
～お客さまの「指紋」「虹彩」「顔」を利用した生体認証サービスの提供～



インターネットバンキングの生体認証に **FIDO** (ファイド)

お客様の生体情報を**預からず**に生体認証ログインを実現する**次世代オンライン認証規格 FIDO**

パスワード認証をはじめとするこれまでの認証モデルでは、サーバー側で本人確認をするための情報を保管しておく必要があります。また、認証の際ネットワークを通じて識別情報を送信することとなり、盗聴やフィッシングサイトなど情報搾取のリスクにもさらされることが、オンライン認証で生体認証普及のハードルとなっています。この課題を解決し、オンラインサービスで安全な認証を実現するFIDOは、インターネットバンキングに最適な認証モデルです。



■ FIDOなら、改正個人情報保護法への対応も容易

2017年5月施行の改正個人情報保護法により、認証システムで取扱う個人を識別する生体情報も「個人情報」として定義されました。お客様の生体情報を預かることが必要ないFIDOの仕組みは、インターネットバンキングに最適な認証システムです。

■ 多要素認証としてのFIDO

FIDO認証ベースでのインターネットバンキングへのログインのためには、「生体情報による端末での本人検証」、「秘密鍵が格納された端末とサーバー間の署名検証」の二つの処理の完了が必要です。生体情報と、秘密鍵の所有が必要となるFIDO認証は、多要素認証と定義されます。

さらに詳しい情報を知りたい・話を聞きたいお客様 **DDSへご相談ください**

【お問合せはコチラまで】

株式会社ディー・ディー・エス 営業本部マガタマ事業部
TEL: 03-3272-7900 Mail: mtgm@dds.co.jp

この面は裏面です。表面からお読みください。